



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2012年（平成24年）1月15日号 No. 1550

目次

■ 2012年のロシアはどう動くか	服部 倫卓 1
■ キーパーソン	16
キルギス新政権発足／16	
■ 統計速報	17
2011年1～11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／17	
2011年1～11月の日ロ貿易／18	
■ トピックス	19
NEXIがロシア企業融資に貿易保険を適用／19	
ロシア政府がJXエネと三菱商事の排出枠認定／20	
キヤノンがロシア事業を拡大／20	
丸紅がカザフで大型製油設備を受注／20	

2012年のロシアはどう動くか

ロシアNIS経済研究所 次長

服部 倫卓

はじめに

本稿では、年頭に当たり、2011年のロシアの政治・経済情勢を回顧するとともに、2012年の展望を試みることにする。

2011年、世界が「アラブの春」に揺れ、また米国やEUを起源とする世界経済危機の「第二波」の到来が叫ばれるなかで、ロシアは当初、それらとは一線を画し、比較的安定した動きを示していた。しかし、2012年3月の大統領選にプーチン現首相が出馬するという方針が9月に発表されたことで、その後かえってロシア情勢は流動化した感がある。かくして、大統領選挙とAPECウラジオストク・サミットという重要イベントが予定されている2012年に、ロシアは少なからぬ不透明感を抱えながら突入することになった。本稿では、ノーヴォスチ通信の発表した10大ニュース、世論調査のデータ、経済指標、専門家の論評などを手掛かりに、ロシア情勢を読み解いてみたい。